



平成14年2月1日発行

No.654

広報 おこおり



熱氣あふれる農業祭

伝統ある東津農業祭（大根まつり）が12月23日
東津公民館を会場に開催されました。

これは、午前中品評会に出された、大根、白菜、
しいたけなど287点をせり売りするもの。集まっ

た人々は、市価よりもかなり安く買えるとあって、
お目当てのものを手に入れようと一生懸命でした。

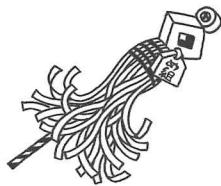
2

主な内容

- ・平成14年小郡町消防出初式
- ・祝！小郡町成人式
- ・確定申告～申告と納税は、期限内に
- ・家族そろって交通災害共済に加入しましょう
- ・町長のちょっとお耳を拝借!!
- ・予防接種・こんにちは赤ちゃん
- ・夫からの暴力に悩んでいませんか～相談窓口設置へ
- ・児童福祉係からお知らせ



地球環境保護のため再生紙を使用しています。



平成14年小郡町 消防出初式



冬日がさす中、1月6日、新春恒例の小郡町消防出初式が、町ふれあいセンターを会場に開催されました。当日は、山口地域消防組合南消防署、町消防団、私設消防組、婦人防火クラブ、少年消防クラブから322人が参加しました。

まず町ふれあいセンターを起點に市中行進、駐車場での分行進（観閲）が勇壮に行われ、続いて手押しポンプによる放水、水バケツ競争及びはしご車による演技が披露されました。

式典では、岩城町長が「都市化の進行や地域住民の生活環境や生活様式の著しい変容により、消防・救急体制の強化・充実、能力の維持・強化が求められています。皆様には、崇拝な消防精神と強い責任感を堅持し、不測の災禍に備えて町民の信頼と期待に応えられんことを切望します。」と式辞を述べました。

また山口県消防協会長表彰を始めとし、個人28人に表彰状や感謝状が贈られ、最後は、木下敦消防団員による宣誓が行われました。



▲消火活動や訓練の大切さを発表した竹村治消防団員



▲はしご車による演技



▲御苦労さまでしたと退職組頭に感謝状が贈られました

出初式の
一コマ



▲女性団員としての様々な体験を発表した芳村幸江消防団員



宣誓をする
木下敦消防団員

▲はしご車を見上げて、参加者も思わず「オーッ」



1月14日、平成14年小郡町成人式が町ふれあいセンターを開催され、新成人166名が出席しました。あいにくの雪り空、真新しいスーツや色艶やかな晴着を着た出席者は、久しぶりの懐かしい顔との再会に旧交をあたためていただきました。

午前10時30分に始まった式典で、岩城町長は「社会が大きく変わろうとしている時だからこそ、春風のようなさわやかで温かい心を忘ることなく人に接する事が求められています。自らの努力と若さあふれる身体と行動力を持って、21世紀を夢と希望にあふれる時代へと導くため力を発揮していただきたい」と出席者を祝福し、それを受け新成人を代表して阿武隆史さん（長谷西）が「諸先輩と同じように、一生懸命、人としての誠を尽くしながら、社会を支えていく一員として、日々、努めていきたい」と感謝の言葉を述べました。続いて秋田拓也さん（東津上）が記念樹贈呈としてナギの木の苗木を町長へ手渡しました。

式典終了後『はたちのひろば』が、「はたちのひろば実行委員会」（松井大介委員長）を中心に行われ、一人一人記念写真を撮ったり、「青春の茶話会」と題して各テーブルに軽食を用意するなど新成人をお祝いしました。またステージのバンド演奏や豪華？賞品が当たる「青春のいいもの」で会場は、若さあふれる熱気で包まれました。様々な団体の協力により新成人には忘れられない1日となつたようです。

祝
2

小郡町成人式



あ忘れなく!

町・県民税の申告

2/18
月▼
3/15
金

町役場税務課では、2月18日(月)から3月15日(金)までの間、別表の日程により町・県民税の申告相談を行います。

申告書を提出していただく人

■ 平成14年1月1日現在、小郡

町内に住所のある人で、平成13年中に所得(営業等、農業、配当、不動産など)のあった人。

■ 給与所得者は、通常、申告の必要はありませんが、次のような人は申告をしなければな

- (1)勤務先から給与支払報告書が提出されなかった人。
- (2)給与所得者で、日雇及びパート等で働いている人。
- (3)給与所得のほかに、地代、家賃、配当などの給与以外の所得(20万円以下)のある人。
- (4)厚生年金・国民年金等を受給している人。
- (5)雑損控除・医療費控除を受けようとする人。
- (6)平成13年中に退職した人。
- 国民健康保険に加入している人。(所得のない人でも必ず申告書を提出してください。)

申告書を提出する 必要のない人

■ 所得税の確定申告書を税務署に提出した人。

■ 勤務先から給与支払報告書がすでに提出されている人。

■ 平成13年中に所得のなかつた人は、申告書裏面にある通信欄の該当箇所を記入して、3月15日(金)までに税務課町民税係へ提出してください。
※申告のない人は、所得証明、納税証明等が発行されないことがあります。

●町・県民税申告相談日程

◎時間 8時30分～17時15分

◎場所 町役場第1会議室

2月18日(月) 19日(火) 20日(水)	元橋、三軒屋、原、椎の木 東津上・中・下 平原、宮の原、宮の前
21日(木) 22日(金)	奥畑、前畑、円座東・西 光が丘南・東・中
25日(月) 26日(火)	新丁、柳井田 大正上・中・下
27日(水)	三税共同申告相談日 受付場所 町役場第1会議室 受付時間 9:00～16:00
28日(木) 3月1日(金) 4日(月)	山手上・下 新町東上・下、仁保津東 新町西、樅の前
5日(火) 6日(水) 7日(木)	明治東・西・北、田町 仁保津上・下、金堀 白土、岩屋、八方原、森下
8日(金) 11日(月) 12日(火)	蔵敷、中央通 矢足、長谷、長谷西 柏崎、新開
13日(水) 14日(木) 15日(金)	津市上・中・下・南 尾崎、金池、鉄道寮 駅南各町

三税共同申告相談日以外の所得税の申告相談は原則として給与・年金所得の方が対象です。それ以外の所得のある方は直接税務署へご相談ください。

場所は町役場第1会議室です。

所得税、贈与税(国税)や事業税(県税)の申告該當者を対象とした『三税申告相談』が、2月

27日(水)午前9時から午後4時

三税申告相談日は

2月27日(水)です。



税の相談はお気軽に

〔国税〕(所得税・贈与税など)

■山口税務署 ☎083(922)1340
■税務相談室 ☎083(922)2774

〔町・県民税〕

■町役場税務課☎(973)2415
☎(973)2411 内線153(申告期間中)

〔事業税〕

■県税事務所 ☎083(925)3111

申告相談に持参していただくもの

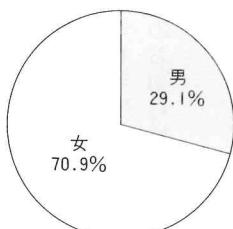
- ①印鑑
- ②生命保険・損害保険・社会保険・医療費などの領収書、証明書
- ③源泉徴収票、各支払調書
- ④その他所得計算に必要な帳簿書類等
- ⑤申告書用紙
- ⑥配偶者特別控除を受けられる場合は、配偶者の収入(所得)のわかるもの

介護保険

介護サービス等についての利用者アンケートの結果報告

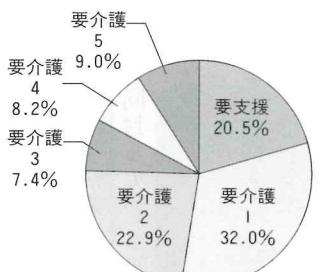
(調査依頼数：居宅サービス利用者213人、総回答数：127人、回答率：59.6%) 平成13年7月実施

1. 性別



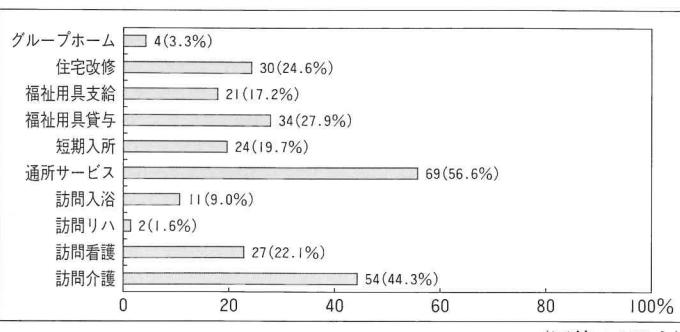
(回答：127人)

2. 利用者の要介護度区分



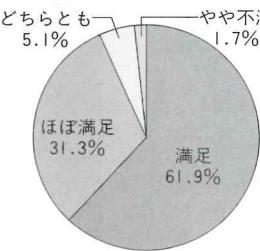
(回答：122人)

3. 介護保険で利用したサービス（複数回答）



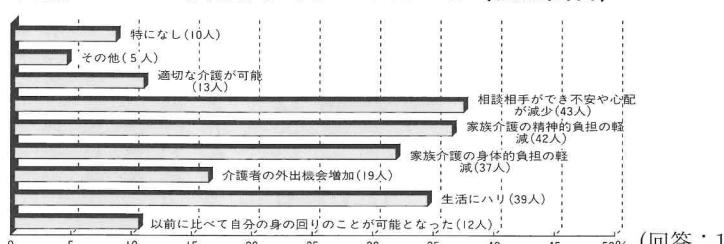
(回答：122人)

4. 利用したサービスに対する満足度



(回答：118人)

5. 介護サービスを利用してよかつたこと（複数回答）



(回答：114人)

国民健康保険加入者が出産をしたときには、出産育児一時金が支給されます。支給金額は30万円です。

出産育児一時金のご案内

【申請に必要なもの】

- ・印鑑（認め印）
- ・保険証

・出産の事実がわかる書類

（出産の証明が書かれた母子手帳など）

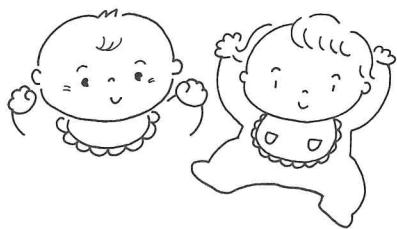
【申請先】

町役場町民課保険係

町役場に出生届を提出する前でも、出産の事実が確認できれば出産育児一時金の申請ができます。**退院前の支給も可能です。**

支払方法は口座振込・現金支給ができますが、現金支給を希望される方は保険係まで事前にご相談下さい。

- * 出産をした人が、社会保険・組合保険（本人）をやめて6ヶ月以内に出产した場合は、社会保険・組合健康保険へ請求できます。
- * 妊娠12週（85日）以降であれば死産・流産でも支給されます。



町役場町民課保険係
8131 (973) 4

夫からの暴力に悩んでいませんか？

相談窓口設置へ

現在、(注)DV（ドメスティックバイオレンス）が大きな社会問題となっています。

特に夫からの暴力（身体的・精神的に）に悩んでおられる方を

守るために、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が平成13年10月にでき、県にも相談窓口が設置されました。ご利用ください。

各都道府県に相談、指導、一時保護、その他の援助を行う支援センターが平成14年4月1日から設置されます。

*山口県では「山口県男女共同参画相談センター」で業務を行います。

相談・問合せ
山口県男女共同参画相談センター
電話：083（901）1122

*この法律は、夫からの暴力だけでなく妻からの暴力も対象にしています。

特によく、夫からの暴力（身体的・精神的に）に悩んでおられる方を

守るために、「配偶者からの暴

力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が平成13年10月にでき、県にも相談窓口が設置されました。ご利用ください。

②保護命令
①接近禁止命令（6ヶ月）
②退去命令（2週間）
罰則：懲役又は罰金

13年10月にでき、県にも相談窓口が設置されました。ご利用ください。

特によく、夫からの暴力（身体的・精神的に）に悩んでおられる方を

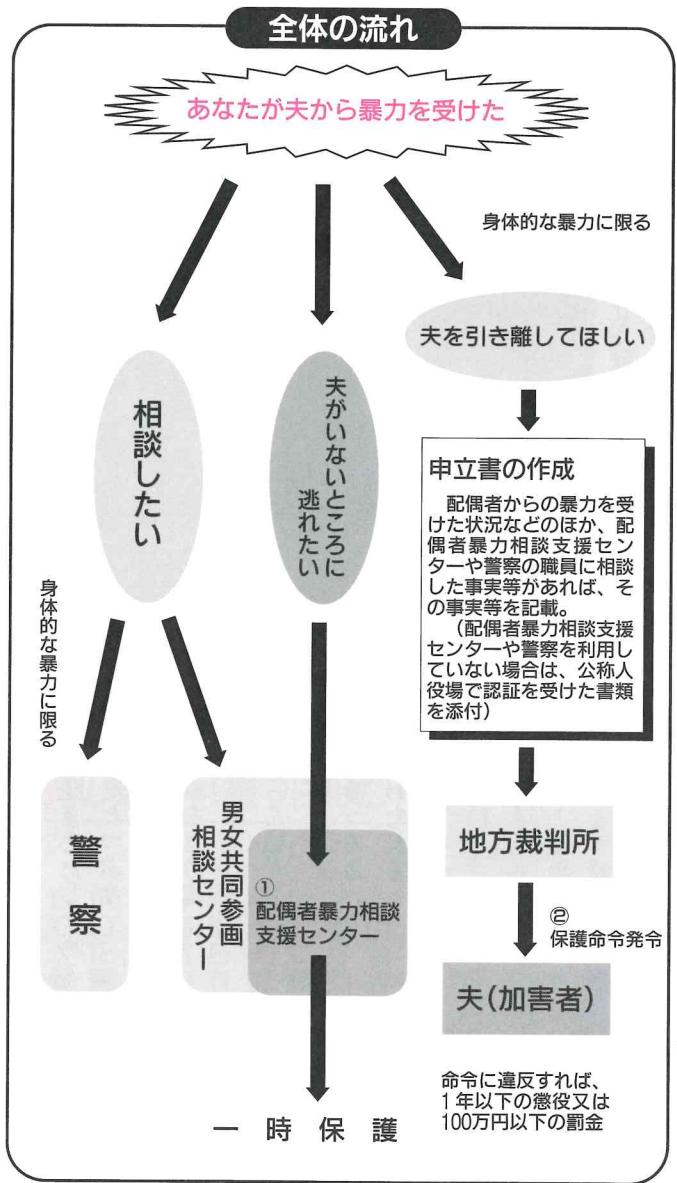
守るために、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が平成13年10月にでき、県にも相談窓口が設置されました。ご利用ください。

一般的に夫や恋人など親密な関係にある男性から女性に対して振るわれる暴力のことをいい、身体的なものだけでなく、精神的、性的なものと様々です。

特によく、夫からの暴力（身体的・精神的に）に悩んでおられる方を

守るために、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が平成13年10月にでき、県にも相談窓口が設置されました。ご利用ください。

一般的に夫や恋人など親密な関係にある男性から女性に対して振るわれる暴力のことをいい、身体的なものだけでなく、精神的、性的なものと様々です。



るほど栄養価が高く、病人食としても使われています。

松島の 松に雪 ふり

牡蠣育つ 山口青邨

歳時記

現在、日本の牡蠣は、ほとんどがマガキと呼ばれる養殖 modeで、主な産地は広島、松島湾、伊勢湾など。養殖の方

冷たさをもて滑らかに酢牡蠣かな松根東洋城
こんな句を読んだだけで、生づばが出てきそうですね。英語でRのつく月がおいしいとされる牡蠣ですが、なかでも厳寒期の一、二月は旬。和、洋、中と、さまざまな料理に合いますが、牡蠣のおいしさを堪能できるのは、やはり生食でしょう。生の魚介類はあまり食べない欧米でも、牡蠣だけは別格のようです。

端正な殻を持つハマグリなどと同じ二枚貝ですが、牡蠣の外見はゴツゴツと不格好で、これといって決まった形をしていません。岩肌などにはりついていて動けないので、殻のふたを開け、織毛を動かして海水を取り込み、その中のプランクトンを食べます。牡蠣の肉質の独特な柔らかさも、運動をしないためだろうと言われています。また、牡蠣は「海の牛乳」と言われ

牡 蠣

牡蠣は、産卵後しばらくは海中を泳ぎ回つますが、やがて棒杓や岩礁に付着し、そこに着いたまま、一生を終えます。



文化資料館トーナード



作品展のご案内

2/7(木) ～10(日)	山口芸術短期大学保育学科 授業作品展
2/16(土) ～3/3(日)	山頭火の句 毛筆展

2月の休館日

4、11、12、18、25

其中庵の来庵記念に記帳していただく「紀行誌」をめくると、関東、関西、中国、四国、九州と多方面から訪ねて下さっています。句碑も全国で470を越えました。

ためらいもなく21世紀へ
たまらん懐かしい
さすらいの風よ雲よ
しぐれの碑に帰つておいで
熟柿落ち土とたわむれる
音と人をまつ山頭火今日も
山頭火の食べた柿陽にすいて赤い
そうして庵の柿の木なら今も残つてゐる
県知事賞を供えて山頭火忌にいる
山頭火のチシャなます晴れて來た
翁をまつ柿の光つて秋高し
柿の色に逢う小郡の寝牛
盃を満たして想う山頭火
同じ歳の足をさすつてみる忌日
秋ごくら近くで風よ山頭火
其中庵に二人の影がある忌日
大花野ひとり彼方へなぜいそぐ
秋の蝶句碑それそれの貌をもち
柿に尋ねる蟬のひたむき
寝牛の忌わたくし一人がくれんば
山頭火をこころに秘めし蔓珠沙華
熟柿陽に透く其中庵の忌日
なつめの実小きざみに搖れ山翁忌
山翁忌コスモスに聞く風の行方
蔓珠沙華おくれて山翁忌へいそぐ
大和尚の笑顔の還る山翁忌
庵の柿たわわ遠き客もあり

阿佐子 阿佐子
久子 久子
元祐 元祐
重子 重子
精二 精二
むつこ むつこ
沙希代 沙希代
和美 和美
やすを やすを
繁子 繁子
余志子 余志子
静波 静波
八重子 八重子
石火矢 石火矢

ためらいもなく21世紀へ

其中庵の来庵記念に記帳していただく「紀行誌」をめくると、関東、関西、中国、四国、九州と多方面から訪ねて下さっています。句碑も全国で470を越えました。

ためらいもなく21世紀へ
たまらん懐かしい
さすらいの風よ雲よ
しぐれの碑に帰つておいで
熟柿落ち土とたわむれる
音と人をまつ山頭火今日も
山頭火の食べた柿陽にすいて赤い
そうして庵の柿の木なら今も残つてゐる
県知事賞を供えて山頭火忌にいる
山頭火のチシャなます晴れて來た
翁をまつ柿の光つて秋高し
柿の色に逢う小郡の寝牛
盃を満たして想う山頭火
同じ歳の足をさすつてみる忌日
秋ごくら近くで風よ山頭火
其中庵に二人の影がある忌日
大花野ひとり彼方へなぜいそぐ
秋の蝶句碑それそれの貌をもち
柿に尋ねる蟬のひたむき
寝牛の忌わたくし一人がくれんば
山頭火をこころに秘めし蔓珠沙華
熟柿陽に透く其中庵の忌日
なつめの実小きざみに搖れ山翁忌
山翁忌コスモスに聞く風の行方
蔓珠沙華おくれて山翁忌へいそぐ
大和尚の笑顔の還る山翁忌
庵の柿たわわ遠き客もあり

六十二回忌牛の寝息をたしかめる
山頭火忌日の酒をたっぷり
雲へあゆむ彼の人の影山翁忌
仏心を背負つて歩む里の道
男なら女なら柿に染まれまい
あの笑顔がたまらん懐かしい
さすらいの風よ雲よ
しぐれの碑に帰つておいで
熟柿落ち土とたわむれる
音と人をまつ山頭火今日も
山頭火の食べた柿陽にすいて赤い
そうして庵の柿の木なら今も残つてゐる
県知事賞を供えて山頭火忌にいる
山頭火のチシャなます晴れて來た
翁をまつ柿の光つて秋高し
柿の色に逢う小郡の寝牛
盃を満たして想う山頭火
同じ歳の足をさすつてみる忌日
秋ごくら近くで風よ山頭火
其中庵に二人の影がある忌日
大花野ひとり彼方へなぜいそぐ
秋の蝶句碑それそれの貌をもち
柿に尋ねる蟬のひたむき
寝牛の忌わたくし一人がくれんば
山頭火をこころに秘めし蔓珠沙華
熟柿陽に透く其中庵の忌日
なつめの実小きざみに搖れ山翁忌
山翁忌コスモスに聞く風の行方
蔓珠沙華おくれて山翁忌へいそぐ
大和尚の笑顔の還る山翁忌
庵の柿たわわ遠き客もあり

盛会だつた山頭火忌の献句
六十二回忌牛の寝息をたしかめる
山頭火忌日の酒をたっぷり
雲へあゆむ彼の人の影山翁忌
仏心を背負つて歩む里の道
男なら女なら柿に染まれまい
あの笑顔がたまらん懐かしい
さすらいの風よ雲よ
しぐれの碑に帰つておいで
熟柿落ち土とたわむれる
音と人をまつ山頭火今日も
山頭火の食べた柿陽にすいて赤い
そうして庵の柿の木なら今も残つてゐる
県知事賞を供えて山頭火忌にいる
山頭火のチシャなます晴れて來た
翁をまつ柿の光つて秋高し
柿の色に逢う小郡の寝牛
盃を満たして想う山頭火
同じ歳の足をさすつてみる忌日
秋ごくら近くで風よ山頭火
其中庵に二人の影がある忌日
大花野ひとり彼方へなぜいそぐ
秋の蝶句碑それそれの貌をもち
柿に尋ねる蟬のひたむき
寝牛の忌わたくし一人がくれんば
山頭火をこころに秘めし蔓珠沙華
熟柿陽に透く其中庵の忌日
なつめの実小きざみに搖れ山翁忌
山翁忌コスモスに聞く風の行方
蔓珠沙華おくれて山翁忌へいそぐ
大和尚の笑顔の還る山翁忌
庵の柿たわわ遠き客もあり

白灯
まさかず
耕二
隆道
天

「冬の道路に潜む危険と
安全運転のポイント」

冬の道路では、降雪・凍結
による「スリップ事故」が多
く発します。
小郡警察署管内では、
・自動車専用道路
・県道山口・阿知須宇部線
(きらら道路)

・南部海岸道路の周防大橋
・その他山間部の道路
において、スリップ事故が多
く発生しています。
安全運転のポイントを紹介
しますので、参考にして安全
運転をお願いします。

夏場の3倍以上

・ブレーキテストの結果で
は、乾燥舗装路面に比べ、
圧雪路面では3倍以上、
アイスバーンでは7倍の
制動距離になります。
・安全運転を確保するため
には、緊急時の制動距離
の違いを十分に自覚し、
危険事態を早めに発見す
ることに努め、早めにブ
レーキングする事が重要
です。

◎追突事故の危険性が高く
なる

・スリップ事故の大半は追
突で、制動距離が長くな
る事が基本的な原因です
が、前車の減速・停止に
気づくのが遅れ、ブレー
キが間に合わなかつた事
が決定的な原因になつて
います。
・前車の動向だけでなく前
方の交通の流れにも十分
目配りをして前車の減速
や停止を予測しながら追
従し、早めにブレーキン
グする事が大切です。

めには、 ※冬場の交通事故防止のた

・安全速度を厳守する
・急ハンドル、急ブレーキ
など「急」のつく運転を
しない

・離を十
分にと
り、保
つなど
の点に
注意し
て運転
しまし
ょう。



新鮮な食材をみなさんへ



12月21日、町保健福祉センター裏で小郡グリーンプラザの竣工式が行われました。これは町農協倉庫前で行われていた小郡町いきいき朝市生産部会による朝市が場所を移したもので、顔の見える農産魚產品の供給また生産者との交流の場づくりに活用されます。式典の後には朝市が開かれ、新鮮な野菜など貢い求める多くの人々でにぎわいました。



うそ 受賞の第一声「嘘っぽんとー」

1月6日、町文化資料館で第5回山頭火フォトコンテストの表彰式が行われ、見事最優秀「其中庵賞」に輝いた佐藤泰子さん（岡山市）に加藤教育長から賞状と賞金が贈られました。佐藤さんは今回3回目の応募で、前の2回何れも佳作及び入選されています。3度目の正直に「嘘つ、と半信半疑でしたが受賞の通知書を頂き実感がわきました。」と話をされました。



今年一年の無事を祈つて



1月13日、町文化資料館横で恒例の「じんぢやき」が行われました。この行事は、門松・しめなわ等を持ち寄って焼くもの。その火で焼いた餅を食べると一年中病気にならないといわれています。開始の合図とともに、酒井智史君（小郡南小5年）と磯中佑樹君（小郡南小5年）が火入れを行いました。参加したみなさんも、今年一年健康で過ごせたら良いですね。

